





























月日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	治療前日 (入院日)	当日術前	当日術後	術後1日目
目標	心身ともに安定した状態で手術を受けられる 治療に対する不安を表出できる		術後合併症を起こさない	
検査	身長・体重測定			
食事	夕食後絶食、21時以後絶飲食 経口補水液は、麻酔科の指示で服用		 帰室 4 時間後より 水分開始	朝より朝食再開
	朝食は 自宅で	 		  
処置・観察	リストバンドを装着します (退院日まで) 臍処置します (シャワー浴前)  手術部位のマーキングをします	点滴の針を留置します  時間になれば、看護師が手術室にご案内します	手術後以下の挿入物、装着物があります ・酸素 → 手後 4 時間で取り外します ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 → 取り外します ・尿道カテーテル → 取り外し、排尿を確認します  創部を観察、処置を行います	退院時にリストバンドを外します
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります			
注射・内服	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください  眠前下剤を服用します	 手術室で点滴を開始します (手術が午後の場合は病棟で点滴を開始します)	 以下の点滴を行います ・持続点滴 → ・抗菌薬 → ・鎮痛剤 →	
	行動・リハビリ	 シャワー浴洗髪をします  制限はありません	 以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し  翌朝までベッド上安静です	 午前中全身清拭し、手術着からパジャマに着替えます  歩行を開始します  尿道カテーテル抜去後はトイレで排尿できます
説明	 医師・麻酔科医より説明(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について  病棟・手術室看護師より説明 ・入院生活について(パスシートを使用) ・手術について  薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について	 医師より説明 ・手術結果について  看護師より説明 ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について	 医師より説明 ・退院後の治療計画、療養上の留意点について  看護師より説明 ・退院後の療養生活について(退院療養計画書をお渡しします)	

* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

08-K40-9 2023.4.28 版 京都第一赤十字病院

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い、計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

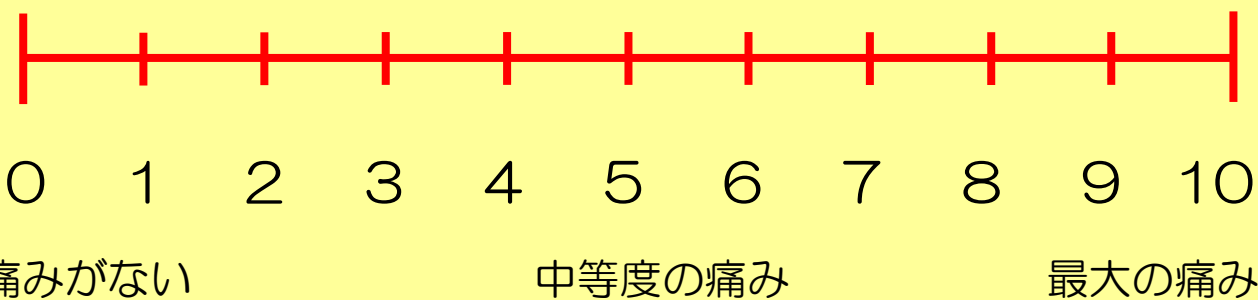
手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS (Numerical Rating Scale) : 痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

☞ 手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください

10 を最大の痛みとした場合
今の痛みはどのあたりですか



APS チームがサポートします。

よろしくお願いします。

